

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21102	無限の可能性開発講座II Development of Limitless Potential	服部 哲也			1	必修	1後期

**科目の概要**

「無限の可能性開発講座I」を基礎としたオムニバス形式の授業である。特定の職業を超えてあらゆる仕事で必要となるジェネリックスキルの修得を目的とする。授業は主にグループワークによる能動的学修法であり、「知識活用力」や「課題解決力」などの考える力と、「コミュニケーション能力」や「自主性・自律性」などの力を育成する。自立した社会人として、一般的知識と技能と常識に裏付けられた考えを持ち、自己研鑽に取り組み、自らの可能性を活かしつつ組織や社会の中で貢献できる能力を身に付けることは、ディプロマポリシー②、③に相当する。前半は海苔をテーマに学修する。後半は就職活動対策に取り組むことで自己を知るとともに企業を知ること、自己の無限の可能性を広げ、卒業後のイメージを身につける。また、知識を獲得し活用することで課題解決に結びつける力は、ディプロマポリシー④に相当する。

学修内容	到達目標
① 海苔の魅力について、科学的根拠に基づき理解する。 ② 食材の魅力を対象者に見合った技法を用いて伝えることができる。 ③ 企業分析を通じて、社会のシステムを把握すると同時に将来の自分を創造する。 ④ 履歴書作成を通じて、自身の長所や短所を認識し、文章化できるようにする。 ⑤ 発表では、スライドや図表を効果的に活用し、対象者に見合った技法を用いて発表できる。	① 海苔について、今までの知識を活用して根拠資料の選定をすることができる。(ディプロマポリシー③) ② 海苔について、対象者に対して分かり易く述べるができる。(ディプロマポリシー②③) ③ 企業分析を行い、自身の将来像を説明することができる。(ディプロマポリシー②) ④ 履歴書を作成し、自己PRや興味のある科目等を記述することができる。(ディプロマポリシー②) ⑤ 発表では、スライドや図表を効果的に活用し、対象者に適切に伝えることができる。(ディプロマポリシー④)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自身が希望する企業に就職するという目標を達成するため、自身で課題を見つけその解決に向かって積極的に情報収集や自己分析ができること。
	働きかけ力	
	実行力	到達目標及び評価方法等を確認して、期日までに履歴書の作成やレポート作成に取り組むことができること。
考え抜く力	課題発見力	企業や施設などの対象をしっかりと理解し、その対象が求める人材の意図を踏まえることができる。
	計画力	
	創造力	それぞれの業種の固定観念に捉われないこと、多角的に考えることができること。
チームで働く力	発信力	相手にわかりやすいように工夫して発表ができること。また、声の大きさや話すスピードを工夫し、専門用語を聞き手に理解しやすいように伝えることができること。
	傾聴力	他人の意見を聞く際「あいづち」や「うなづき」で確認し、自分の意見を述べるができる。また、自己主張を押し切るのではなく、建設的な議論をすることができること。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席せず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

- 『自学・共学システム「学びの泉」』 学泉ノート2026
- 『愛知学泉大学短期大学部 就職の手引き2026』 愛知学泉大学短期大学部就職委員会

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：無限の可能性開発講座I、キャリアデザイン講座、栄養士学外実習  
 資格との関連：特記なし

学修上の助言	受講生とのルール
「生きる力」とは何か、自問自答しながら授業に臨むこと。また、自分に無限の可能性をあることを信じ、失敗を恐れず取り組むこと。また、文章力をつけておくこと。	遅刻や欠席、早退はグループメンバーに迷惑がかかることであり、厳に慎むこと。また、課題レポートを期限内に提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	50	①	✓	
				②	✓	
				③		
				④		
				⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓			
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>★海苔の魅力について、対象者に合わせた根拠資料を用いて紹介資料を作成することができる。(①)</p> <p>★作成資料を用いて、海苔の魅力を対象者の特性に寄り添って伝えることができる。(②)</p> <p>★委託給食会社について企業研究し、パワーポイントにまとめてプレゼンテーションすることができる。(①)</p> <p>★就職希望企業に向けて、AIを活用して履歴書を作成することができる。(②)</p> <p>S(秀) = ①+②+受講態度・学修意欲が非常に高い</p> <p>A(優) = ①+②+受講態度・学修意欲が高い</p>	<p>★海苔の魅力について、紹介資料を作成することができる。(①)</p> <p>★作成資料を用いて、海苔の魅力を対象者に伝えることができる。(②)</p> <p>★委託給食会社について企業研究し、パワーポイントにまとめてプレゼンテーションすることができる。(①)</p> <p>★就職希望企業に向けて、履歴書を作成することができる。(②)</p> <p>B(良) = ①+②：受講態度が良く、学修意欲が概ねある</p> <p>C(可) = ①+②：受講態度が良く、学修意欲がある</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス グループ編成およびグループテーマを決める。	講義・演習 質疑応答にてフィードバック	これからの授業の進め方について説明できる。	(復習) これからの授業の流れについて説明できる。 (予習) 海苔の価値や特徴について調べてくる。	90	主体性 実行力
2	海苔の特徴についての講義	講義・演習 (PC利用: NotebookLM) 質疑応答にてフィードバック	海苔の価値や魅力について説明できる。	(復習) 海苔の価値や魅力についてまとめておくこと。 (予習) 担当テーマの視点から海苔の価値や魅力について調べておく。	90	主体性 実行力
3	海苔について調べ・発表準備 (1)	講義・演習 (PC利用: NotebookLM) グループ活動 質疑応答にてフィードバック	担当テーマに即した海苔の価値や魅力について説明できる。	(復習) 担当テーマに即した海苔の価値や魅力についてまとめておく。 (予習) 作成した資料を使って成果発表できるよう準備をしておく。	90	主体性 実行力 発信力
4	海苔の価値や魅力についての発表会	講義・演習 (PC利用: NotebookLM) グループ活動 質疑応答にてフィードバック	他グループの発表を聞き、多面的に海苔の価値や魅力が説明できる。	(復習) いろいろな視点から海苔の価値や魅力についてまとめておく。 (予習) 高齢者を対象にした「回想療法」について調べておく。	90	主体性 実行力 創造力 発信力
5	海苔イベントおよび海苔の魅力説明ツールについての講義	講義・演習 (PC利用: NotebookLM) 質疑応答にてフィードバック	子どもおよび高齢者を対象にした海苔イベントについてポイントが説明できる。 回想療法について説明できる。	(復習) 子どもおよび高齢者を対象にした教育ツールについて、まとめておく。 (予習) 子どもおよび高齢者を対象にして、海苔の魅力を教育ツールに展開する手法を調べておく。	90	主体性 実行力 創造力 状況把握力
6	子どもおよび高齢者を対象にした海苔の魅力に関する教育ツールの作成 (1)	講義・演習 (PC利用: NotebookLM) グループ活動 質疑応答にてフィードバック	子どもおよび高齢者を対象にした海苔の教育ツールのポイントを説明できる。 回想療法について説明できる。	(復習) 海苔の魅力に関する教育ツールについて、まとめておく。 (予習) 子どもが興味を示す教育ツールおよび高齢者が興味を示す教育ツールについて調べておく。	90	実行力 創造力 状況把握力
7	子どもおよび高齢者を対象にした海苔の魅力に関する教育ツールの作成 (2)	講義・演習 (PC利用: NotebookLM) グループ活動 質疑応答にてフィードバック	子どもおよび高齢者を対象にした海苔の教育ツールのポイントを説明できる。 回想療法について説明できる。	(復習) 海苔と回想法について、まとめておく。 (予習) 作成した教育ツールのポイントについて、対象者へ実施するうえでのポイントを調べておく。	90	課題発見力 傾聴力
8	海苔の魅力に関する子どもおよび高齢者への教育ツール発表会	講義・演習 グループ活動 質疑応答にてフィードバック	他のグループの発表を聞き、それぞれの教育ツールについてのポイントが説明できる。	(復習) 相手に伝える・伝えるポイントをまとめておく。 (予習) エントリーシート作成のため、自己分析を進める。	90	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	就職活動の進め方 (1)先輩の就職活動体験記を元に、進め方をイメージする。 (2)栄養士の仕事の種類、仕事内容を確認する。 (3)自己の長所と短所、適性などを確認する。	講義・解説(PC利用: NotebookLM) 質疑応答にてフィードバック	自己の長所および短所を理解し、文章化することができる。	(復習)自己の長所と短所を見直し、完成度を高める。 (予習)自己の将来像についてまとめておく。	90	創造力 発信力 柔軟性
10	就職活動の進め方、自己分析と志望動機まとめ方 (外部講師: キャリスタ(予定))	講義・解説 質疑応答にてフィードバック	就職活動の進め方をイメージし、就職活動の計画を立てることができる。	(復習)今後の就職活動の方向性を明確にし、行動計画を立てる。 (予習)どのような委託給食会社があるのか、調べておく。	90	創造力 発信力 柔軟性
11	委託給食会社の企業研究 (1)委託給食会社について理念、特徴などを調べる。 (2)調べた内容をパワーポイントにまとめる。	講義 グループワーク活動(PC利用: NotebookLM) 質疑応答にてフィードバックする。	調べた委託給食会社の仕事内容を説明することができる。	(復習)作成したパワーポイントの見直し。 (予習)AIを活用して履歴書を作成する。	90	計画力 発信力 傾聴力
12	AIを活用した就職活動と履歴書作成 (外部講師: マイナビ(予定))	実習・解説 質疑応答にてフィードバックする。	就職活動におけるAI活用の注意点を理解し、自分で作成した履歴書を修正することができる。	(復習)志望動機を作成するためのポイントを整理する。 (予習)作成したパワーポイントと発表原稿の見直し。	90	発信力 規律性
13	委託給食会社調査のプレゼンテーション (1)委託給食会社5社発表する。	講義 プレゼンテーション 質疑応答にてフィードバックする。	他のグループの発表を聞き、それぞれ給食会社の特徴について説明できる。	(復習)発表内容を自分の言葉でまとめる。 (予習)作成したパワーポイントと発表原稿の見直し。	90	課題発見力 傾聴力
14	委託給食会社調査のプレゼンテーション (2)第13週とは異なる委託給食会社5社発表する。	講義 プレゼンテーション 質疑応答にてフィードバックする。	他のグループの発表を聞き、それぞれ給食会社の特徴について説明できる。	(復習)発表内容を自分の言葉でまとめる。 (予習)食品会社についてHPで特徴を調べておく。	90	発信力 規律性
15	学内合同企業説明会について参加企業、注意事項の説明。 長期休暇中の就職活動の進め方について	講義・解説 質疑応答にてフィードバック	授業を振り返り、自身の就職活動スケジュールの作成およびそのポイントについて説明することができる。	(復習)これからの就職活動に向け、不安なく取り組めるよう計画を見直しておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力